

第132回女川原子力発電所環境調査測定技術会資料

平成27年2月4日
東北電力株式会社

女川原子力発電所の状況について

1. 運転状況について

- (1) 1号機 第20回定期検査中
- (2) 2号機 第11回定期検査中
- (3) 3号機 第7回定期検査中

2. 各号機の報告について

(1) 1号機

- ・平成23年9月10日より、第20回定期検査を実施中。
 - － 使用済燃料貯蔵ラック点検を実施。
 - － プラント停止中の安全維持点検およびプロセス計算機更新工事等を実施中。
- ・今期間中に発見されたトラブルに該当しないひび、傷等の軽度な事象は以下のとおり。
 - a. 燃料集合体チャンネルボックスの外観点検における異物の確認について

(2) 2号機

- ・平成22年11月6日より、第11回定期検査を実施中。
 - － 耐震工事等を実施中。
- ・今期間中に発見されたトラブルに該当しないひび、傷等の軽度な事象なし。

(3) 3号機

- ・平成23年9月10日より、第7回定期検査を実施中。
 - － 復水器細管の点検等を実施中。
- ・今期間中に発見されたトラブルに該当しないひび、傷等の軽度な事象なし。

3. 地震および津波による発電所主要設備への軽微な被害の対応状況

- ・東北地方太平洋沖地震における主要設備への軽微な被害として、平成26年12月末までに61件のうち60件が復旧。

4. 当社原子力発電所における配管の設計状況に関する調査結果の報告について

- ・当社は、原子力規制委員会の指示文書「日本機械学会『発電用原子力設備規格 設計・建設規格』<第I編 軽水炉規格>に係る報告について」(平成26年12月18日付)に基づき、当社原子力発電所における配管の設計状況に関する調査結果を取りまとめ、平成27年1月16日に、本件に該当する案件はない旨、同委員会へ報告した。
- ・本件は、上記規格において、配管同士のフランジ継手による接続、ならびに配管の穴の補強に係る規定に誤り*が確認されたことを受け、法令に定める技術基準への適合が義務付けられている機器のうち、同規格に基づき設計したものの有無について、報告を求められたもの。

・調査の結果，誤りが確認された規格に基づいて設計したものはなく，すべて技術基準に適合した配管の接続が行われていることを確認した。

※ 配管同士のフランジ継手による接続，ならびに配管に別の配管を接続するために設けた穴の補強の適合条件が，正しい記載と比べて幅広く解釈できる記載となっていた。

以 上